

農地利用最適化推進委員 公募状況（最終報告）

50音順

	氏名	年齢	性別	経歴	申込方法
1	河口 貴哉	40	男	H26.2～就農 H30.5～農地利用最適化推進委員 R3.5～農業委員会委員 R5～指導農業士	応募
2	菊地 美和	48	女	H28.4～農業開始	応募
3	齋藤 一政	71	男	H30.5～農地利用最適化推進委員	応募
4	杉ノ内 孝太	27	男	H31.4～農業開始	個人推薦
5	澄川 敦馬	29	男	R4.7～農業研修開始	応募
6	田中 一成	59	男	H30.3～（農）立河内絆 役員 H30.5～農地利用最適化推進委員 R2.4～中山間地域直接支払 事務局 R5.7～多面的機能支払 事務局	応募
7	田淵 文雄	77	男	H27.5～農業委員会委員	応募
8	右田 巧	64	男	H12.5～R2.7ダイノエッグ 勤務 H30.5～農地利用最適化推進委員	応募
9	本廣 順保	71	男	H30.5～農地利用最適化推進委員	応募
10	安永 桂	65	男	農業関係の役職記載なし	個人推薦
11	米田 銀次郎	46	男	R5.1～自営就農	応募

農地利用最適化推進委員の推薦と応募の理由

(1) 個人による推薦

被推薦者 (推薦を受ける者)	推薦者（推薦をする者）の代表者	
氏名	氏名	推薦理由
杉ノ内 孝太	三井 利民	福川地区の担い手として農業に専念している。今後も担い手としてだけではなく、推進委員等も担い、福川地区のリーダーとして頑張ってもらいたい。
安永 桂	森下 保	4年前にUターンされ、地区の農業水利組合等を担われており、農業は自然環境にあった栽培をされている。地域の人望もあるため。

(2) 応募者

応募者 氏名	応募の理由
河口 貴哉	子供の頃から大好きだった地域に少しでも貢献できればと思う。耕作放棄地の防止、法改正による農地の有効活用や新規就農者の育成等、これからの地域農業の問題点の解消に貢献したいと考える。
菊地 美和	有機農業の発展に貢献したい。高齢化に伴い耕作放棄地が増え、農地が荒れていく現状を改善するための助力になればと思い応募した。
齋藤 一政	高齢化が進み離農・後継者不足・担い手不足等により農地の維持・継続が難しくなって荒廃が進み、ひいてはそれが生態系の破壊や地域の景観にも悪影響を及ぼしている現状である。支援策等の活用も図りながら、何とか荒廃農地の発生防止・解消に寄与したい。
澄川 敦馬	地域農業の発展および農地の保全に貢献したいと考え応募した。応募地区の抜月・真田地区では住民の高齢化や町外への移住などにより遊休農地が増加している。一方、圃場整備事業の活用などで、農地利用の効率化も進んでいる。推進委員に応募して、地域の一員として農業の課題解決に取り組みたい。
田中 一成	農地利用最適化推進委員として2期携わってきた。経験を活かし、地域計画の策定に協力したいと思う。
田淵 文雄	担い手への農地の集積と遊休農地の解消に努力したい。

右田 巧	集落の良さを維持して将来に続く農業の道づくりをしていきたい。米や農作物の文化や地方の魅力を伝えていきたい。田んぼを見て美しいと感じる気持ちや食物ができる現場を肌で感じて、良い状況になるようにしたい。田や畑の風景や集落の良さを後世につなげ、可能性と農業の良さをさらに引き出していきたいと思う。それと同時に水路の確保も行い水の供給も考え、良い方向に地域の方々とも協力して農業の良さを引き出そうと思う。
本廣 順保	農家の立場に立った農業施策に努力する。
米田 銀次郎	耕作放棄地の発生防止に努めたい。